御行幸の次第 同様

一 御筆始而むかひより御奉内参され則而御まん乃

き 子

る

そ一 いとこ・これいとも乃事

一 御風筆ノ事

一 関白殿御供乃る

同
松平
山城守
松平龍孫寺
松田
伊勢守
特聖殿河寺
夜堂大学次
石馬
兵戸少将
浅野宗女正
水野隼人佐
戸田左門
京都修理大夫
寺沢兵庫次
名野
紀伊寺
松平左近大夫
戸田宗女正
城
兵部大夫
城丹後守
三宅大膳正
黒田市正
織田
丹後守
狀田河内寺
松平和泉寺
小笠原
右近太夫
本平周防寺
松平
下総寺
松平河内寺
松平
対馬守
奴奴式戸少将
松田甲斐寺
恩戸
内膳正
菱流城戸正
南部山城守
紀伊寺
松平加賀守
松平右獄寺
水野和泉守
松田
大和寺
金森出雲寺
恩部美濃寺
黒田甲斐寺
島山長門守
黒田河内寺
松原伯晴寺
織田
越後寺
海口
伯晴寺
織田

島山長門守
吉田河内守
織田
丹後守
秋田河内守
松原伯暗守
織田
一柳監物
松下
不見守
松浦肥前守
池田倫中守
中川
内膳正
津東
木下
右向大夫
森伊勢守
若山羽守
遠藤
伊勢守
片桐主膳正
小出
對馬守
木下
交内小輔
鴻津
右馬助
ふア
左京亮
伊藤
弓猴守
桑田
藤助
海口
伯暗守
織田
美作守
九鬼長門守
大田原倫前守
伊藤修理大夫
小出大和守
不川
主殿正
稲葉讃岐守
安藤出羽守
佐久乃大膳正
青木甲斐守
片桐不見守
平野壹口守
本多周防守
山崎甲斐守
松郎
左兵衛
片桐出雲守
多橋伊豆守
長谷川
武ア小輔
竹中
丹後守
一柳
美作守
桑山左衛門佐
松倉長門守
池田出雲守
一柳丹後守
本田

一柳丹後守
土方
丹後守
伊豆守
井上
淡路守
秋月長門守
石川伊豆守
竹中
采女正
土方
仙石大和
戸川
土佐守
佐久間
信濃守
小出大隅守
吉田
細川
玄蕃頭
織部
三浦
水野
佐久間
三好
土屋
一柳
竹中
丹後守

松平越中守
池田帯刀
小笠原
松平
土屋
田中
三浦
酒井
加賀守
同

こと移り
ト六
同
こと移り
さうしき
酒升推系及

たくてう
たくてう
たくてう
たくてう

能勢小十郎
弓射次ゝ左衛
賀茂勘衛門
西尾主殿助
新名甚助
林丹波守
射上源助
佐敷勘衛門
淺山又兵衛
松平勘兵衛
永見新左衛門
聖衛色外記
淡川三九郎
毎加左近大夫
大久保源次ゝ
桑山内匠次
加茂平内
一夫左兵へ
随身
射上清兵衛
信多
秋山十右衛門
信長刀
力者
清牛胴副二人
牛二ひき

はい
かい
はい長刀　力者
はい牛胴副二人
牛二ひき
うしのひ二人
うしのひ舎人二人
物軍持　はい車
布衣十二人
忌ゆき宮人
はい牛かひ志ゆもち
権御侍男三人
下らう随身二人
はい馬奈と持り
るそ人八人

尾張大納言
馬副六人

紀伊大納言

後陣大納言
くろ ゆきく
ほうい
ほうい
ほうい
ほうい
ほうい
ほうい
ほうい
ほうい
ほうい
ほうい

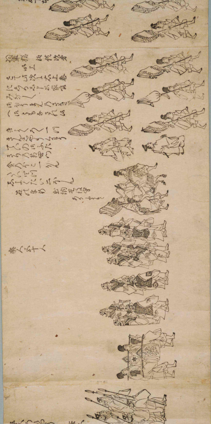
水戸中納言

十四

薩广中納云
くろ ゆうきく
とも右ゝ同
越前宰相
くろ ゆうきく
供右ゝ同
俊お宰相
くろ ゆうきく
供右に同
奈津宰相
くろ ゆうきく

倭お宰ね
くろ ゆきく
佐太に同
倭津宰ね
くろ ゆきく
ともの人ね太同
見よりみな黒しやうそく
佐美中ね
長門ね
可猴ね
来沢ね
毛利甲斐守
沢山ね
柳川ね
大野ね
中勢ね
丹後ね
織田ね
安藤ね
土佐ね
肥前ね
肥後ね
狀田ね
芝ね
仙臺ね
因幡ね
丹羽ね
森太宗大夫
稲葉ね
山崎ね
河波ね
伊達ね
秋田ね
對馬ね
義前ね
松山ね
姫路ね
出雲ね

土佐侍従
肥前侍従
肥後侍従
薩摩侍従
松山侍従
姫路侍従
出雲侍従
これより四ツ山の徒大夫
頭山侍従
松平土佐守
馬玄蕃
南ア信濃守
多聖月向守
松平丹波守
松平大和守
松平右京大夫
伊豹豊後守
守沢志ア守
松平讃岐守
奎平武ア少将
内侍の
ゝ笠五十ツ
物軍様
以上
さて此次に右上巻



長え十四丁
清りあし十三ちやう
黒ぬり三ちやう
以上

行幸の次第大かた右乃ゑふも尚
なふとりへとも事をおろかや
是は猶ゑ数あるゆへ乃ときのけ川
りうさなりく無合まをまひ
りたしあうらくちうのけんふつ
國こより安徳こへきせんくしん
ちやうてはあのくふはしまりて
よりあのうこきろくまをあらハ
まず城川おをてのさんしきハ金
きんをりゆくりさつさて行幸乃
ていゑなてんちやう人事外屋く
くの次第をのりうさちやうむ
ちまきくまんけんまてやうかう
なら勢ゑ有へをかんてんまそも
ひくくやらんときこえなり加様
のるを國遠墨のりありくまを
見る人をまを何らした様のかた
しくりあらましとを申こゝ
まをよハされとも見勢ゆさんそ
のためりし大方ゑにをまなふや
りろこし我朝ふもたくひなふ
ようきこえをり

あいれまち通る田町

国立国会図書館